



**BARCODE LABEL PRINTER**  
**KSW-500Pi Series**

**取扱説明書**



株式会社システムウェーブ

## ■ご使用の前に必ずお読みください■

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。  
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に必ず本書をよくお読みください。読み終わった後は大切な保管し、必要な時に読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず、当社は一切責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理を行なわないで下さい。
- お客様の誤った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- データなどは基本的に一過性のものであり、長期的、永久的な記憶、保存はできません。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の損害および損失利益などについては、当社は一切の責任を負えません。予めご了承ください。
- 本書の内容についての記載漏れや誤り、不明な点などございましたらご連絡ください。

### 国外に持ち出す場合の注意について

この製品は、日本国内においてご使用いただくことを前提に製造、販売しております。  
したがって、国外に持ち出してご使用になる場合の保守サービスは、お引き受けできません。  
また、国外の法規制による処罰、事故その他の不具合について、一切の責任を負いかねます  
のでご了承ください。

## 安全上のご注意

- 必ずお守りください -

- お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように説明しています。



### 警告

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



### 注意

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

## 警告

以下の事項は本機が破損もしくは故障したり、加熱、発煙する恐れがあり、火災、感電の原因となりますので絶対に行なわないで下さい。破損、故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないで下さい。
- 通気性の悪い場所への設置や本機の開口部をふさぐような使用はおやめください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所、空気が塩分やガスを含んでいるような場所への設置はおやめください。
- 指定された電源電圧、周波数以外使用しないで下さい。
- 電源コード、インターフェイスケーブルに重さがかかる状態で本機を引っ張ったり、持ち運んだりしないでください。
- 本機内にクリップ、虫ピン等の異物を落としたり、入れないようにしてください。
- 電源コードのタコ足配線をしないでください。
- 本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないで下さい。水などをこぼした場合は、電源を切り電源コードをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
- 本機の分解、改造を行なわないでください。

## 一般注意事項

本機を快適にご使用いただくために、守るべき注意事項です。必ずお読みください。

## 注意

- プリンタ内部にクリップ、ピンのような物を落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 本機の移動、持ち運びには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた場合には、完全にプリンタカバーを開けてから作業をしてください。プリンタカバーが閉じて身体などを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた状態の時にはプリンタカバーに注意してください。エッジなど身体を傷つける恐れがあります。
- 印字中にプリンタカバーを開けないで下さい。
- 本体ケース表面を清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所での使用は避けてください。
- 本機に液体をこぼしたり、薬剤を吹きかけたりしないでください。
- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- コントロールパネル部の操作は丁寧に行なってください。乱雑な操作は故障、誤動作の原因になります。また、ペン先などの鋭利なものでの操作は絶対に行なわないでください。
- 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障の時は本機の分解を行わず、必ずサービスマンにお任せください。

## 設置上の注意事項



- 火気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具のそば等、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所に設置しないでください。
- 空気が、塩分やガスを含んでいるような場所には設置しないでください。
- プリンタは水平で安定した卓上で、通気性の良い所に設置してください。（開口部は壁等で絶対に塞がないように注意してください）
- 本機の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりしますと受信障害の原因となることがありますので、注意してください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用しないでください。
- 電源コード、ACアダプターは、必ず付属のものを使用してください。（アダプタモデル：WDS060240P（9A））  
また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードまたはインターフェイスクーブルを持って本体を引っ張ったり、持ち運びしないでください。
- 電源コードのタコ足配線は避けてください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行なってください。
- コネクタの接続は確実に行ってください。特に極性が逆に接続されると、内部の素子が破壊されることがあります。
- インターフェイスクーブルの取り付けや取り外しは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 信号線を長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。やむをえず配線する時は各信号毎にシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントから電源プラグを抜き、容易に電源を遮断できるように設置してください。
- コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと、静電気でケガをする恐れがあります。
- バッテリーを交換する際は推奨するバッテリーと交換してください。正しく行なわなかった場合、故障の原因となる可能性があります。

### KSW-500PIが取得している規格

EN55022 : 1998, CLSPR 22, Class A / EN55024 : 1998 IEC 61000-4 Serial / EN61000-3-2 : 2000 / EN 6100-3-3 : 1995 / CFR 47, Part 15/CISPR 22 3rd Edition : 1997, Class A / ANSI C63.4 : 2001 / CNS 13438 / IEC60950-1 : 2001 / GB4943 : 2001 / GB9254 : 1998 / GB17625.1 : 2003 / EN60950-1 : 2001

<b>1. バーコードプリンタ本体</b> .....	<b>5</b>
1-1. 梱包内容の確認 .....	5
1-2. 仕様 .....	5
1-3. 通信ポート仕様 .....	7
1-4. プリンタ各部の名称 .....	9
<b>2. プリンタの設定</b> .....	<b>11</b>
2-1. リボンの装着方法 .....	11
2-2. ラベルの装着方法 .....	13
2-3. ラベルホルダの取り付け方法 .....	14
2-4. タグ仕様の設定方法 .....	15
2-5. コンピューターとの接続 .....	15
2-6. プリンタドライバーの設定 .....	16
<b>3. コントロールパネル</b> .....	<b>17</b>
3-1. コントロールパネル概要 .....	17
3-2. 設定モード .....	19
3-3. 自動テスト .....	24
3-4. ダンプモード .....	25
3-5. オートセンサーモード .....	25
3-6. キーボードモード .....	26
3-7. 操作エラーの表示 .....	29
<b>4. オプション</b> .....	<b>31</b>
4-1. ピラーユニットの取り付け方法 .....	31
4-2. カッターユニットの取り付け方法 .....	34
4-3. ワイヤレスLANボードの取り付け方法 .....	36
4-4. GF カードの取り付け方法 .....	40
4-5. GF カードのインストール .....	41
<b>5. メンテナンスと調整</b> .....	<b>42</b>
5-1. サーマルヘッドのクリーニング .....	42
5-2. サーマルヘッド圧の調整 .....	42
5-3. サーマルヘッドのオフセットの調整 .....	43
5-4. カッターの紙詰まり除去 .....	43
5-5. トラブルシューティング .....	44

# 1. バーコードプリンタ本体

## 1-1. 梱包内容の確認

プリンタ本体と下記の付属品が揃っていることをご確認ください。

- ◆ 電源コード
- ◆ ACアダプター
- ◆ USB ケーブル
- ◆ テスト用ラベル紙
- ◆ テスト用リボン
- ◆ リボンホルダ X2
- ◆ 巻き取り側リボン紙管
- ◆ ラベルホルダ
- ◆ ラベルホルダガイド
- ◆ クイックスタートガイド
- ◆ CD (ユーザマニュアル、プリンタドライバその他)
- ◆ 保証書

## 1-2. 仕様

型 式	KSW-502 Pi	KSW-503 Pi
印字方式	熱転写方式 (TT) / 感熱方式 (DT) 兼用	
解像度	203 dpi (8 dot/mm)	300 dpi (12 dot/mm)
メモリ	4MB Flash (2MBユーザー領域), 8MB SDRAM	
印字速度	150 mm/s (6 IPS)	100 mm/s (4 IPS)
印字長	10 mm (0.39インチ) ~ 1727 mm (68インチ)	10mm (0.39インチ) ~ 762 mm (30インチ)
印字幅	108 mm (4.25インチ)	105.7 mm (4.16インチ)
センサータイプ	移動式センサー搭載。センサー：反射型/透過型/自動測長機能	
用紙サイズ	用紙幅：25.4 mm (1インチ) - 118 mm (4.64インチ) 用紙厚：0.06 mm (0.003インチ) - 0.25 mm (0.01インチ) ロール外径 (最大直径127 mm) ラベル軸 or ラベル紙管 or ラベル：25.4 mm, 38.1 mm, 76.2 mm (1インチ, 1.5インチ, 3インチ)	
リボン	長さ：300 m (981インチ) 幅：30 mm - 110 mm (1.18インチ - 4.33インチ) 外径：68 mm (2.67インチ) リボン軸外径：1インチ (25.4 mm)	
使用言語	EZPL	
ソフトウェア	アプリケーション：Label Plus・Label Express ドライバ：Microsoft Windows 2000, XP, Vista, 7	
内蔵フォント	11種類のwindows bitmapフォントを内蔵 (6, 8, 10, 12, 14, 18, 24, 30及び16X26の各サイズ) 水平垂直方向に8倍まで拡大、8方向に回転が可能。OCR-A OCR-B 内蔵スケラブルフォント4方向 (0, 90, 180, 270) に回転可能	
ダウンロードフォント	各種漢字及びWindowsフォントのダウンロードが可能。 ※全てのフォントは4方向に回転可能。漢字は8方向に回転可能	
グラフィック	モノクロPCX、BMPに対応。アプリケーションによりICO、WMF、JPG、EMFに対応し、イメージを拡大縮小、回転、反転及び白黒変換を自由に行なうことが可能	
バーコード	バーコード： Code 39, Code 93, Code 128 (subset A, B, C), UCC/EAN-128 K-Mart, UCC/EAN-128, UPC A / E (add on 2 & 5), 1 2 of 5, 1 2 of 5 with Shipping Bearer Bars, EAN 8 / 13 (add on 2 & 5), Codabar, Post NET, EAN 128, DUN 14, HIBC, MSI (1 Mod 10), Random Weight, Telepen, FIM, China Postal Code, RPS 128 and GS1 DataBar 2次元バーコード： PDF417, Datamatrix code, MaxiCode, QR code and Micro QR code	

<b>インターフェース</b>	シリアルポート: RS-232 (DB-9) USB ポート (工場出荷時ON) パラレルポート: セントロニクス 36-pin PS2 ポート CF カード ソケット
<b>コントロール パネ ル</b>	バックライト式LCD: 128 x 64 dots or 4 lines x 16 characters 2色LED3組: Power on, Ribbon out, Media out コントロールキー: FEED, PAUSE and CANCEL
<b>時計機能</b>	リアルタイムクロック搭載
<b>電 源</b>	自動選択 100/240VAC, 50/60 Hz
<b>環境条件</b>	使用温度: 5° C to 40° C (41° F to 104° F) 使用湿度: 30-85%, 結露なき事 保管温度: -20° C to 50° C (-4° F to 122° F) 保管湿度: 10-90%, 結露なき事.
<b>安全基準</b>	CE (EMC), FCC Class A, CB, cUL, CCC
<b>外形寸法</b>	長さ: 285 mm (11.2インチ) 高さ: 171 mm (6.8インチ) 幅 : 226 mm (8.9インチ)
<b>重 量</b>	3.0Kg
<b>オプション</b>	カッター ピラー 外部ラベルロールホルダー 外径10インチ (250 mm) 外部巻き取り装置 有線LANボード (工場出荷時OFF; USBポートとの同時使用はできません) 802.11 b/g 無線LANボード (工場出荷時OFF; USBポートとの同時使用はできません。PS2 ポートを外し無線LANボードを取り付けます)

製品の仕様は予告無く変更される場合があります。

記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

### 1-3. 通信ポート仕様

#### パラレルインターフェイス

ハンドシェイク : DSTBIはプリンタに接続します。BUSYはパソコンに接続します。

インターフェイス : IBM PC互換のパラレルケーブル  
ケーブル

ピン配列 : 下記表に基づく

PIN NO.	FUNCTION	TRANSMITTER
1	/Strobe	host / printer
2-9	Data 0-7	host
10	/Acknowledge	printer
11	Busy	printer
12	/Paper empty	printer
13	/Select	printer
14	/Auto-Linefeed	host / printer
15	N/C	
16	Signal Gnd	
17	Chasis Gnd	
18	+5V, max 500mA	
19-30	Signal Gnd	host
31	/Initialize	host / printer
32	/Error	printer
33	Signal Ground	
34-35	N/C	
36	/Select-in	host / printer

#### シリアルインターフェイス

シリアルポート : 9600 baud rate, no parity, 8 data bits, 1 stop bit, XON/XOFF protocol and  
の初期設定 : RTS/CTS

RS232 HOUSING (9-pin to 9-pin)

DB9 SOCKET		DB9 PLUG
---	1	+5V, max 500mA
RXD	2	TXD
TXD	3	RXD
DTR	4	N/C
GND	5	GND
DSR	6	RTS
RTS	7	CTS
CTS	8	RTS
RI	9	N/C
PC		PRINTER

**【注意】** パラレルポートとシリアルポートの合計アウトプット電力は500mAを超えることは出来ません。

## USB インターフェイス

接続形式 : Type B

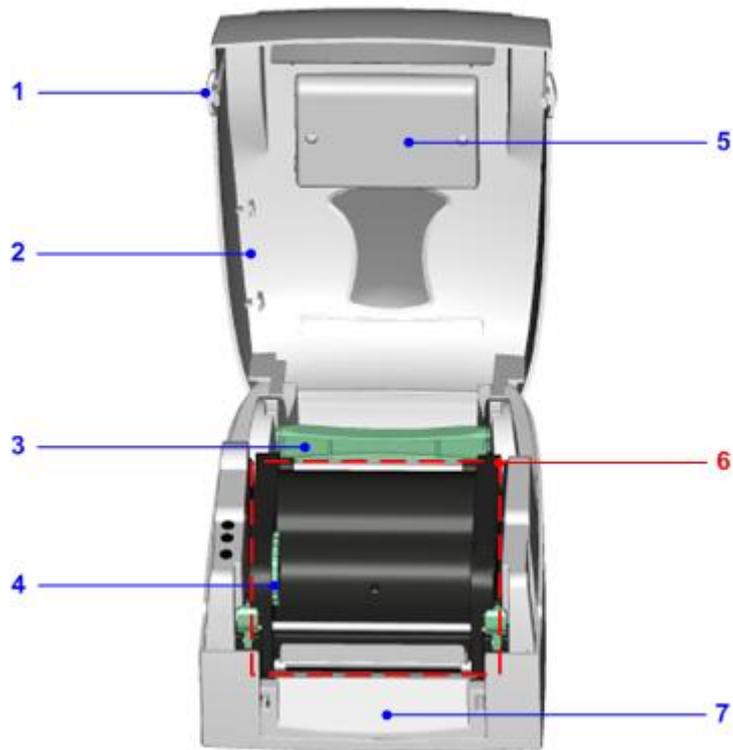
PIN NO.	1	2	3	4
FUNCTION	VBUS	D-	D+	GND

### Internal Interface

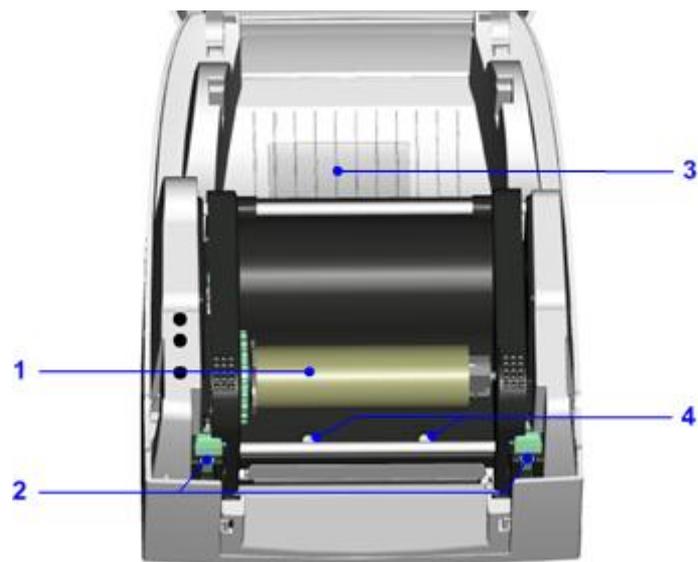
UART1 wafer		Ethernet module	
N. C	1	1	N. C
TXD	2	2	RXD
RXD	3	3	TXD
CTS	4	4	RTS
GND	5	5	GND
RTS	6	6	CTS
E_MD	7	7	E_MD
RTS	8	8	CTS
E_RST	9	9	E_RST
+5V	10	10	+5V
GND	11	11	GND
+5V	12	12	+5V

UART2 wafer		Expansion module	
+5V	1	1	+5V
CTS	2	2	RTS
TXD	3	3	RXD
RTS	4	4	CTS
RXD	5	5	TXD
GND	6	6	GND

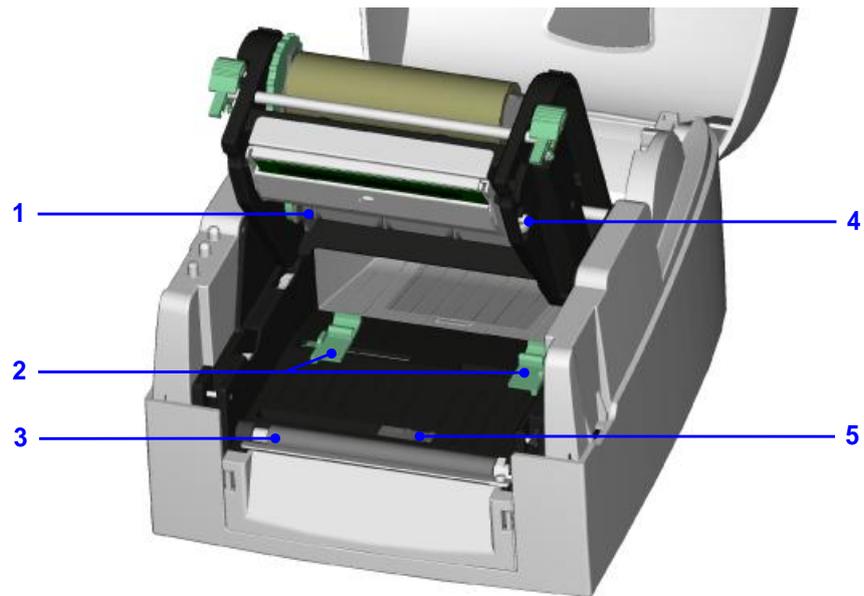
## 1-4. プリンタ各部の名称



1.	トップカバーボタン
2.	トップカバー
3.	ラベルホルダ
4.	リボン巻取リング
5.	LCDモジュールケース
6.	ヘッドユニット
7.	フロントカバー



1.	リボンホルダ + 巻取り紙管
2.	ヘッドオープンレバー
3.	CFカードスロットカバー
4.	ヘッド圧バランス調整ネジ(左/右)



1.	リボンホルダ (供給)
2.	ラベルガイド
3.	プラテンローラ
4.	ヘッド圧調整ネジ
5.	ラベルセンサー



1.	コントロールパネル
2.	用紙挿入口
3.	PS2ポート/無線LANアンテナ (オプション)
4.	電源スイッチ
5.	LANポート
6.	USBポート
7.	パラレルポート
8.	シリアルポート
9.	電源ソケットインレット

\*ポートは製品の種類によって違います。

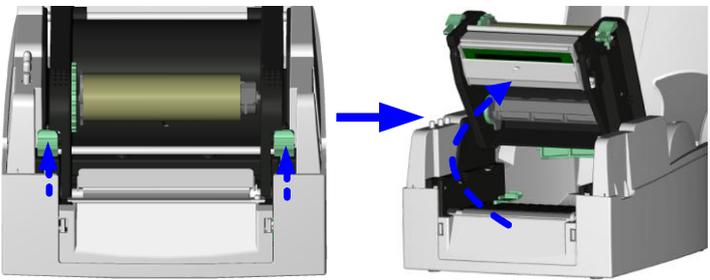
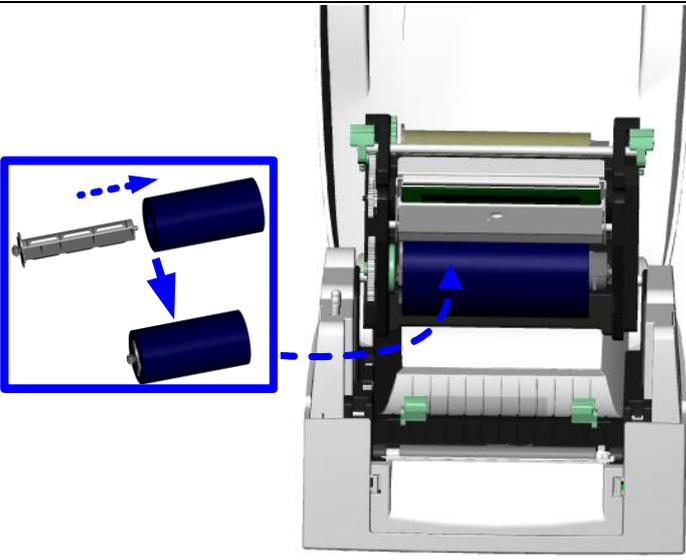
## 2. プリンタの設定

KSW-500Piの印字方式は下記のものがあります：

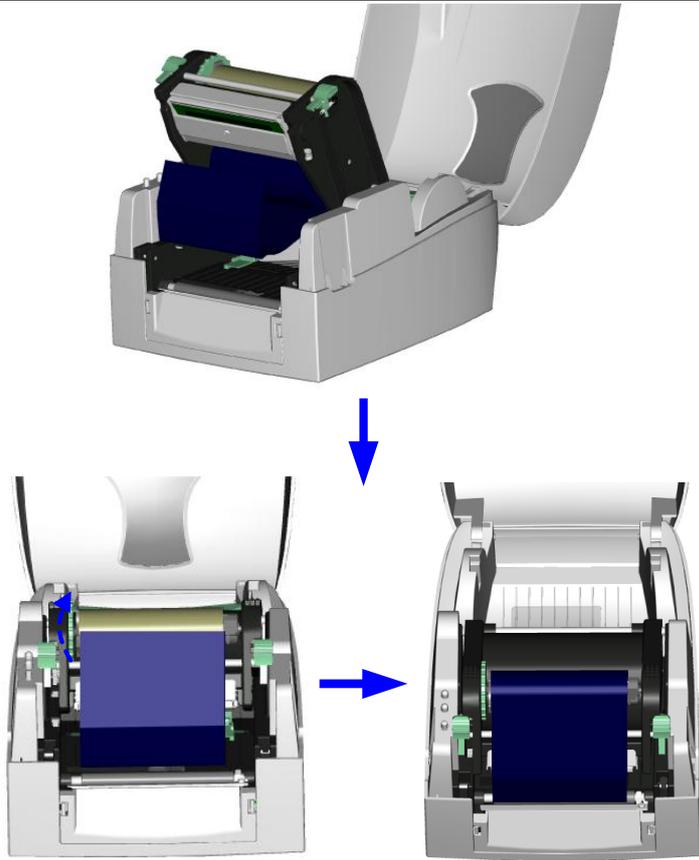
熱転写方式 (TT)	リボンを使用し、熱転写用紙に印字を行います。熱転写用紙は一般の紙質ですが、特殊なリボンを使用することにより、合成紙、PET紙、銀ネーム、タグなどの特殊な材質のラベルにも印字可能です。
感熱方式 (DT)	リボンを使わず感熱紙を使用し印字を行います。

(注意) 熱転写、感熱用紙を選ぶ際には、十分な配慮をお願いします。用紙、リボンによっては、鮮明な印字品質、更にはサーマルヘッドの寿命が保証できない場合があります。印字方式を選択するには設定モードで切り替えを行います。

### 2-1. リボンの装着方法

<p>1. プリンタの正面に向かい左右のトップカバーボタンを押しトップカバーを開きます。</p>	
<p>2. 左右のヘッドオープンレバーを押しヘッドユニットを開きます。</p>	
<p>3. 新しいリボンをリボンホルダに取り付けます。そして、ヘッドユニット下側にセットします。</p>	

4. リボンからリボンを引き出し、サーマルヘッドの下を通します。
5. リボンをヘッドユニット上側の空の紙管を取り付けたリボンホルダにテープなどで固定します。巻取りリングを回し、十分にリボンのたるみを取ってください。



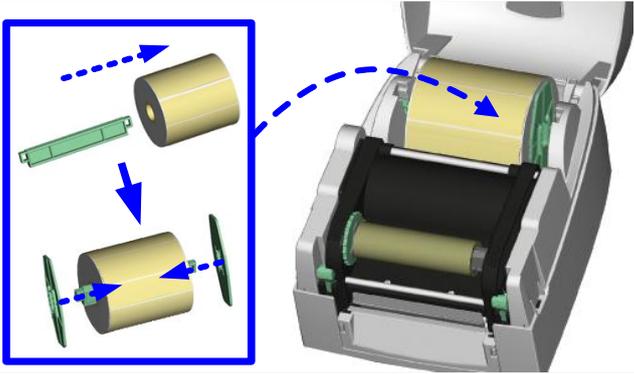
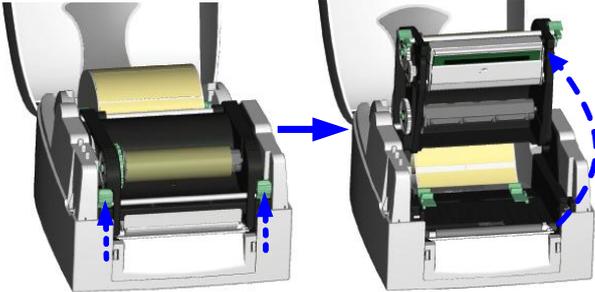
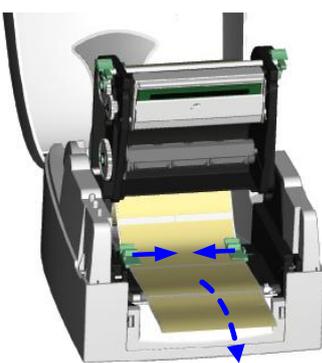
6. 最後にヘッドユニットを押し下げてください。これでリボンの装着は完了です。



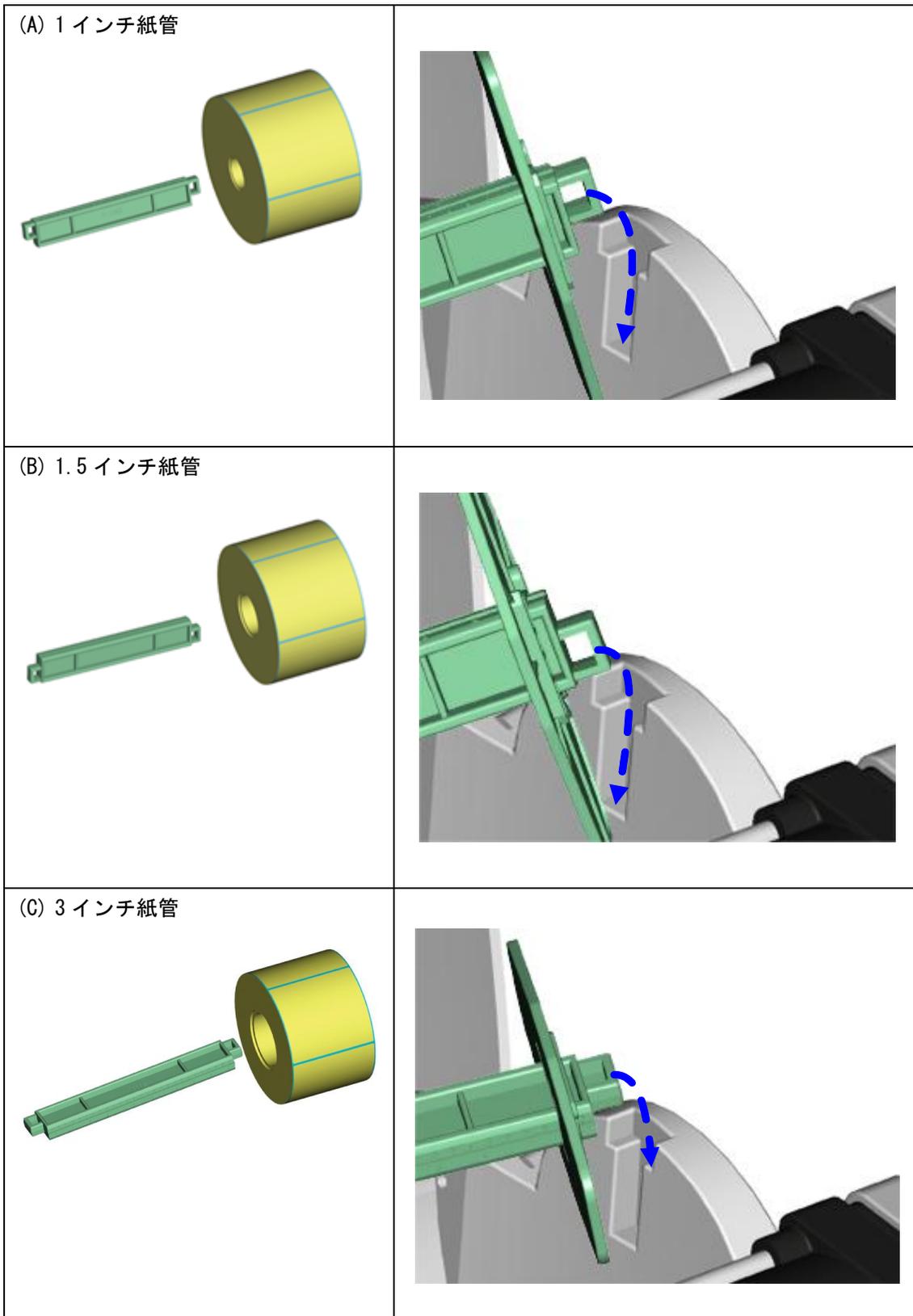
「注意」

- ・ 必ず外巻きのリボンを使用してください。
- ・ リボンはラベルよりも幅が大きいものを使用してください。

## 2-2. ラベルの装着方法

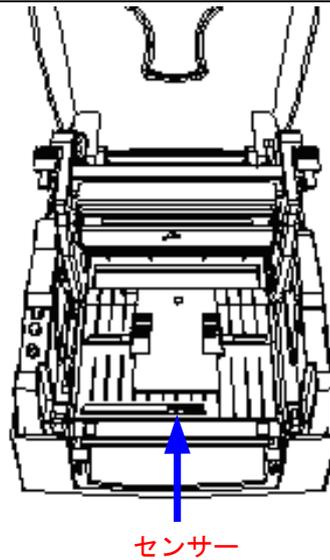
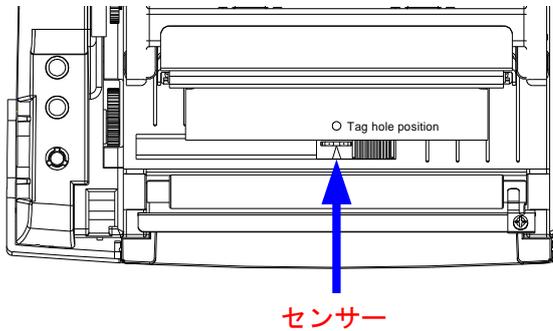
<p>1. プリンタの正面に向かい左右のトップカバーボタンを押しトップカバーを開きます。</p>	
<p>2. ラベルにラベルホルダを通します。 3. ラベルホルダガイドを左右にはめ込みます。 4. そして、プリンタにセットします。</p>	
<p>5. 左右のヘッドオープレバーを押しヘッドユニットを開きます。</p>	
<p>6. ラベルを下から、左右のラベルガイドを通します。 7. ラベルガイドはラベルサイズに合わせてください。ガイドが合っていないと蛇行や紙詰まりの原因になります。</p>	
<p>8. 最後にヘッドユニットを押し下げてください。これでラベルの取り付けは完了です。ラベルは表巻き/裏巻きの両方が使用できます。</p>	

## 2-3. ラベルホルダの取り付け方法



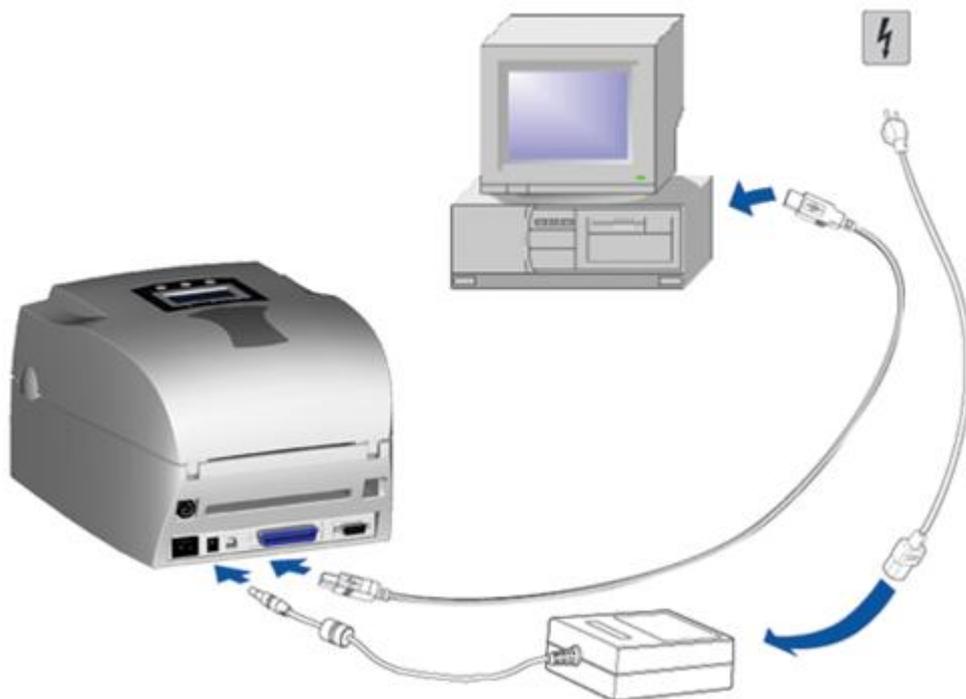
## 2-4. タグ仕様の設定方法

タグを印字する場合は、センサーを糸穴の位置に合わせて、ラベルガイドを使用しタグを固定してください。

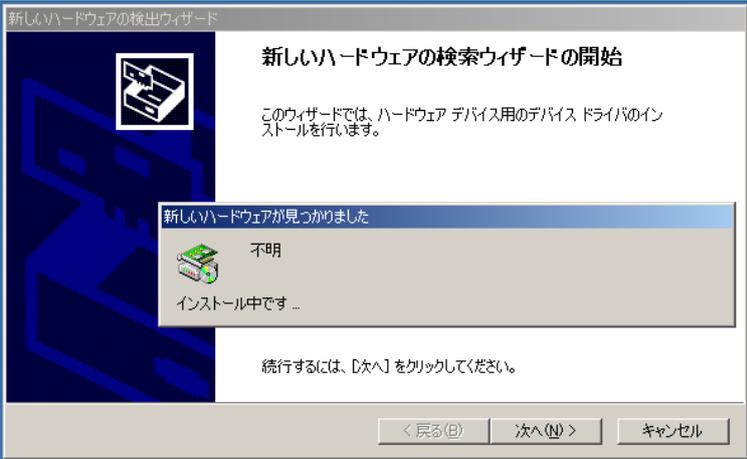
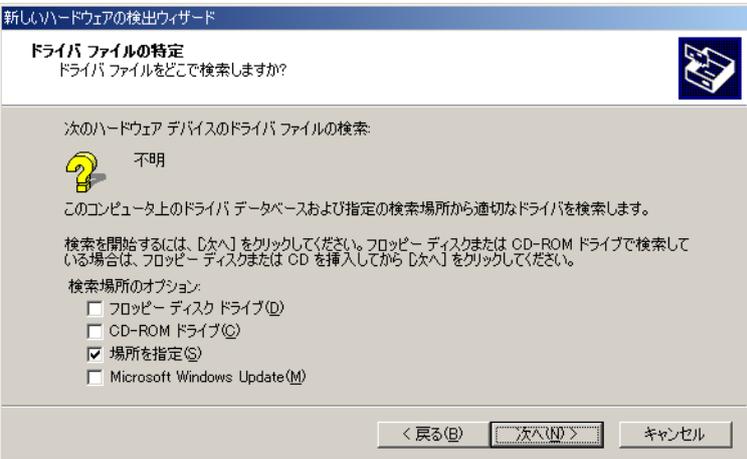
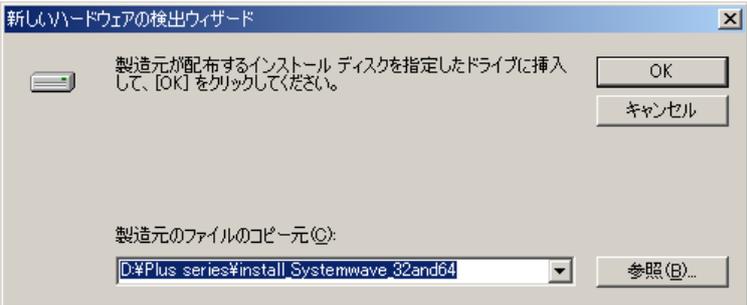


## 2-5. コンピューターとの接続

1. プリンタの電源が OFF になっていることを確認してください。
2. AC アダプターのコネクタをプリンタ本体の電源インレットに差し込みます。
3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
4. プリンタ後面のインターフェイスコネクタへ通信ケーブルを差し込みます。
5. 通信ケーブルのもう一方をコンピューターのインターフェイスコネクタへ差し込みます。
6. 電源を ON にすると、POWER LED が点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。



## 2-6. プリンタドライバーの設定

<p>1. USB ケーブルが接続されますと PC は自動的に新しいデバイスを検索してインストールを開始します。</p>	
<p>2. 「デバイスに適切なドライバを検索（推奨）」を選択。</p> <p>3. CD を挿入し「場所を指定」を選択し CDRom など、プリンタドライバーのあるパスを指定してください。</p> <p>4. プリンタドライバのインストールが終了しました。</p>	
	

### 3. コントロールパネル

#### 3-1. コントロールパネル概要

	<b>Control keys</b>	
		FEED
		PAUSE
		CANCEL
<b>LEDランプ</b>		
Power (Ready)	電源ステータスとレディステータスを表示します。	
Ribbon	リボンステータスを表示します。	
Media	メディアステータスを表示します。	

#### FEED キー

オンライン時にFEEDキーを押すと1枚分ラベルを送り出します。  
連続紙の場合は特定の長さでラベルを送り出します。  
エラーになったりラベルが正しい位置に停止しない場合は、オートセンサーモードを実行してください。

#### Pause キー

オンライン時は、一時停止モードとなり、液晶ディスプレイに「ポーズ」と表示されます。ポーズ中は印刷を行うことができません。再びPauseキーを押すとオンラインに戻ります。印刷中にPauseボタンを押すと印刷を停止します。再びPauseボタンを押すと残りの印刷を再開します。

#### Cancel キー

Cancelキーは、印刷中のジョブを取り消す際に使用します。  
印刷データは削除され液晶ディスプレイに「印字終了」と表示され印刷は停止します。その後、「オンライン」に戻ります。

FEED、PAUSE、CANCELキーの組合せで、プリンターは以下の機能を実行することができます：

Item	キー	ビープ音	液晶ディスプレイ	解説
セルフテスト	 + 電源ON	3 beeps	セルフテスト開始	 キーを押したまま電源を入れ3回ビープ音が鳴ったらキーから手を離します。
ダンプモード	 +電源ON	3 beeps → 1 beep	ダンプモード	 キーを押したまま電源を入れ3回のビープ音後もキーから手を離さず続いて1回ビープ音がなったら手を離します。
自動センサーモード	 +電源ON	3 beeps	自動センサーモード	 キーを押したまま電源を入れ3回ビープ音が鳴ったらキーから手を離します。
初期設定	 +  +電源ON	2 beeps twice	規定値に戻す	 と  キーを押したまま電源を入れ2回ビープ音が鳴ったらキーから手を離します。設定を向上出荷状態に戻すことができます。
ダウンロードモード	 +電源ON	1 beep	DL MODE Vx.xx	 キーを押したまま電源を入れ1回ビープ音が鳴ったらキーから手を離します。プリンタファームウェア専用のダウンロードモードに入ります。
設定モード		3 beeps	設定モード	電源を入れた状態で、  キーを3～4秒間ブザーが3回鳴るまで押し続けます。

## 3-2. 設定モード

1. プリンタの電源を入れ、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されていることを確認してください。
2. Pause キーをビープ音が3回鳴るまで3~4秒間押し続けると液晶ディスプレイに「設定モード」と表示されます。
3. 設定モード中のキー操作は下記の通りです。

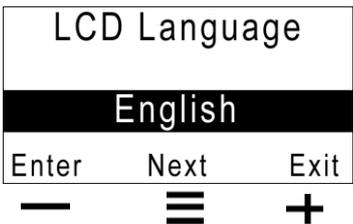
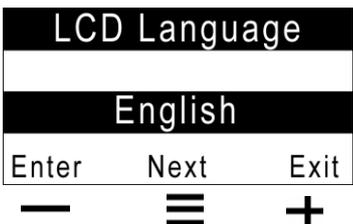
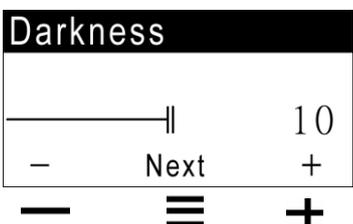
— : — / 確定 (Enter)

≡ : MENU / 次 (NEXT)

+ : + / 終了 (Exit)

4. 設定モードを終了する際は、保存するか確認メッセージが液晶ディスプレイに表示されます。選択後、「オンライン」に戻ります。

≡ Pause キーをブザー音が3回鳴るまで3~4秒間押し続ける設定モードに入ります。ボタンにより液晶ディスプレイに様々な設定項目が表示されます。

 <p>LCD Language</p> <p>English</p> <p>Enter    Next    Exit</p> <p>—        ≡        +</p>	<p>設定モードではディスプレイ上の1行目は設定項目を示します、そして、2行目は現在の設定値を示しています。</p>
 <p>LCD Language</p> <p>English</p> <p>Enter    Next    Exit</p> <p>—        ≡        +</p>	<p>確定キーを押すと設定を開始します。1行目の設定項目が黒く表示され、選択されていない項目は通常通り表示されます。</p>
 <p>Darkness</p> <p>—    10</p> <p>—    Next    +</p> <p>—        ≡        +</p>	<p>設定項目によっては、1行目に設定項目を表示し、2行目に現在の設定値を表示します。</p> <p>+ : + キーで設定値を増やします。</p> <p>- : — キーで設定値を減らします。</p> <p>次 : ≡ キーで次の項目へ移動します。</p>

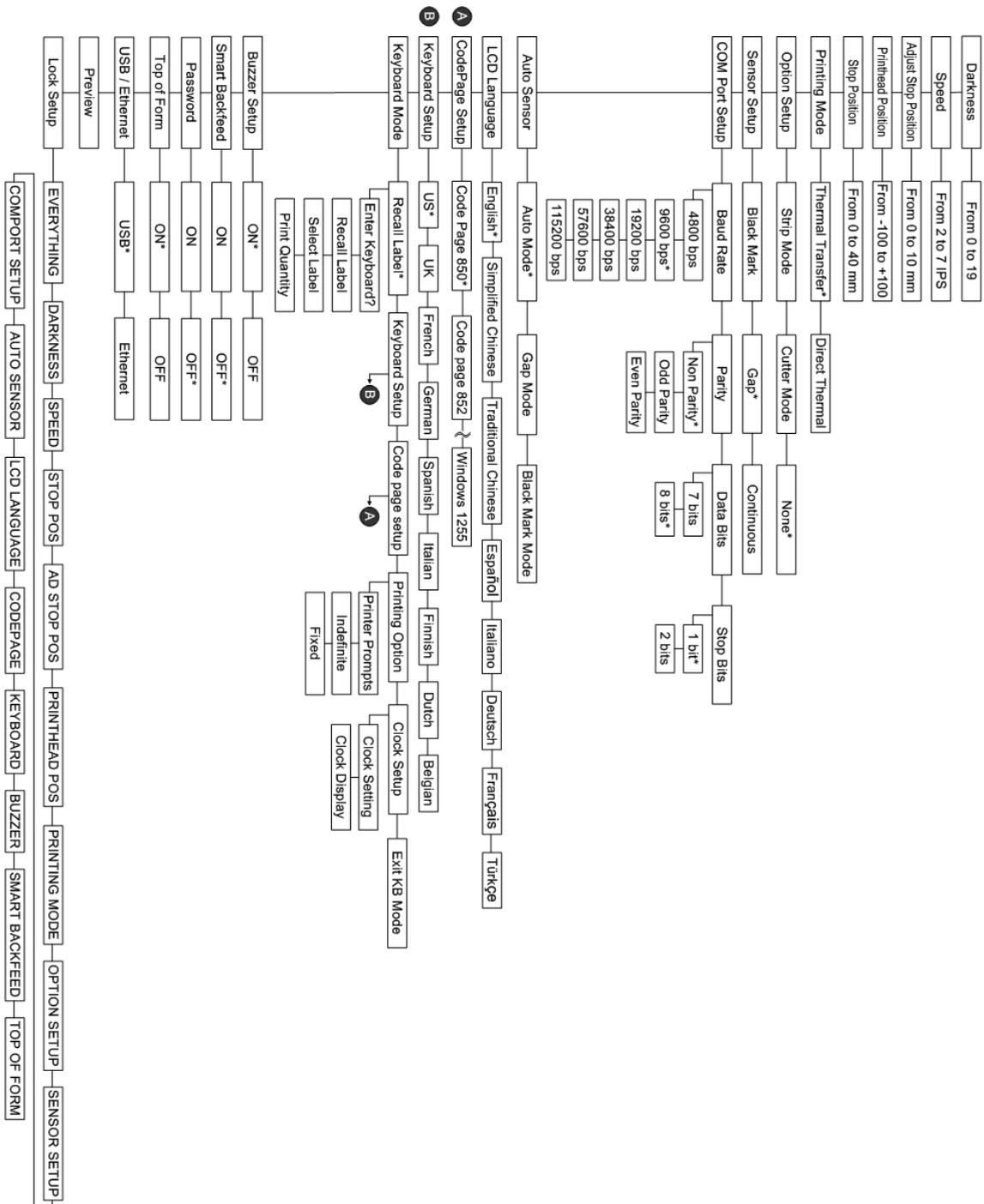
下記は、アイテムをセットすることの一般的な説明です。

印字濃度	初期設定値: 10 印字濃度の設定を行ないます。設定値は0から19まで、初期値は10です。
印字速度	印字速度の設定を行ないます。単位はIPS (インチ/秒)です。
停止位置調整	初期設定値: 0 オフセット値の設定を行ないます。設定値は0から10mmです。この設定値はアプリケーションやコマンドでは変更することができません。
プリンタヘッド位置	初期設定値: 0 プリンタヘッド位置の設定を行ないます。設定値は-100から100です。
ラベル停止位置	初期設定値: 0 ラベルの停止位置の設定を行ないます。設定値は0から40mmです。この設定値はアプリケーションやコマンドで変更することが可能です。
印字モード	初期設定値: 熱転写 熱転写: インクリボンを設定しなくてはなりません。 感熱: インクリボンは必要なく、サーマル紙 (感熱紙) を使用しなくてはなりません。
オプション設定	初期設定値: 無し 剥離モード: 剥離機能使用 カッターモード: カッター使用 無し: オプション無し
センサー設定	初期設定値: 紙間 黒線: 台紙にセンサー認識用の黒線のあるラベル 紙間: ラベル間ギャップがあるもの及びタグ紙 連続紙: 連続紙
COMポート設定	ボーレート: 初期設定値 - 9600 bits 4800 bits 9600 bits 19200 bits 38400 bits 57600 bits 115200 bits
	パリティ: 初期設定値 - None Parity None Parity Odd Parity Even Parity
	データビット: 初期設定値 - 8 bits 7 bits 8 bits
	ストップビット: 初期設定値 - 1 bit 1 bits 2 bits
オートセンサー	初期設定値: オートモード オートモード: 自動認識モード 紙間モード: 紙間ラベル用センサー 黒線モード: 黒線ラベル用センサー

LCD言語	<p>初期設定値: English</p> <p>日本語 English 簡体中文 繁體中文 Spanish Italian Deutsch French Turkish</p>
コードページ設定	<p>初期設定値: Code Page 850</p> <p>Code Page850 Code Page852 Code Page437 Code Page860 Code Page863 Code Page865 Code Page857 Code Page861 Code Page862 Code Page855 Code Page866 Code Page737 Code Page851 Code Page869 Windows 1252 Windows 1250 Windows 1251 Windows 1253 Windows 1254 Windows 1255</p>
キーボード設定	<p>初期設定値: US</p> <p>US UK French German Spanish Italian Finnish Dutch Belgian</p>
キーボードモード	<p>初期設定値: ラベル選択</p> <p>ラベル選択: ラベルを選択します。 キーボード設定: キーボードの設定を行いません。 文字コード設定: 文字コードの設定を行いません。 印字オプション: 印字枚数の設定を行いません。 時計設定: 時計機能の設定を行いません。 データベース編集: データベースの編集を行いません。 キーボード設定終了: キーボードモードを終了します。</p>
ブザー設定	<p>初期設定値: ON</p> <p>ON OFF</p>
スマートバックフィード	<p>初期設定値: ON</p> <p>ON: カッター又は剥離使用時にはONに設定してください。 OFF</p>

パスワード	初期設定値: OFF ON: 設定モードに入る際のパスワード設定を行ないます。 OFF
先端合わせ	初期設定値: ON ON: 先端合わせを行ないます。 OFF
USB / Ethernet	初期設定値: USB USB: USBポートを使用します。 Ethernet: LANボードを使用します。
プレビュー	設定内容をプレビュー表示します。
ロック設定	各設定項目のロック設定を行ないます。ロックをかけて設定項目はアプリケーションやコマンドでの設定が不可能になり、プリンタ本体の設定が優先されます。 すべて (すべての項目をロックします) 印字濃度 印字速度 ラベル停止位置 停止位置調整 プリンタヘッド位置 印字モード オプション センサー COMポート オートセンサー LCD言語 コードページ キーボード ブザー スマートバックフィード 先端合わせ

## The diagram of Setting Mode



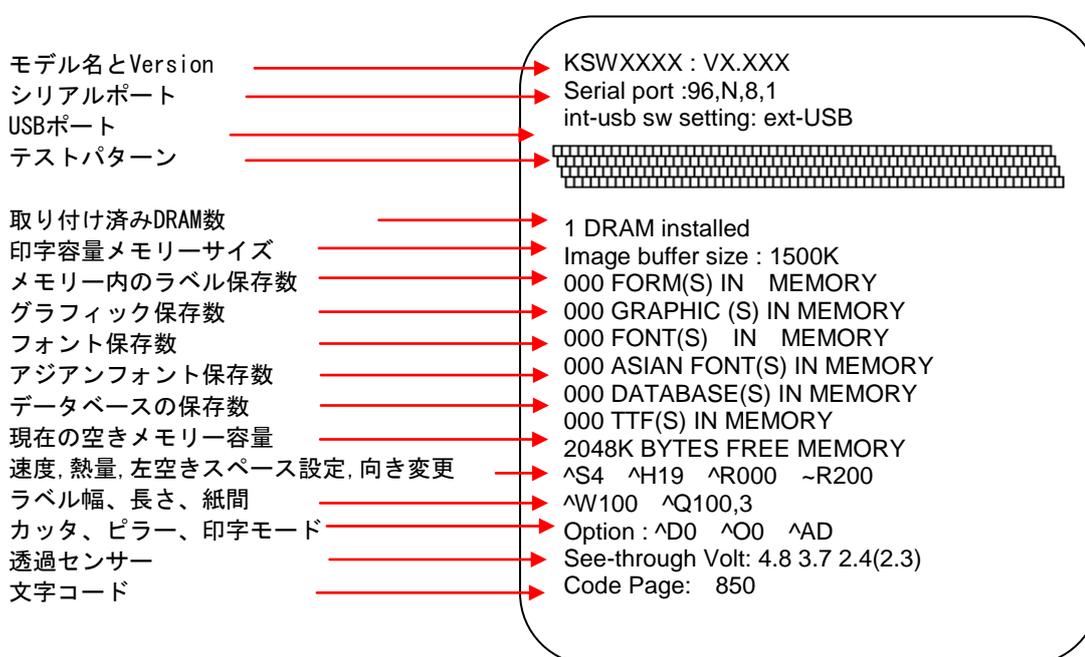
- ◆ To enter the Setting mode, please press and hold the Pause key about 3 to 4 seconds until the buzzer beeps 3 times and LCD shows "Setting mode".
- ◆ Item with the "\*" sign is default setting.

### 3-3. 自動テスト

プリンタの自動テスト機能はプリンタの故障の有無をチェックする機能です。自動テストモードではプリンタがテスト結果を下記のように印字し、「オンライン」に戻ります。

以下は自動テストの手順です。

1. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
2. FEED キーを押しながら電源を投入します。  
ビープ音が3回鳴り、液晶ディスプレイに「セルフテスト開始」と表示されたら FEED キーを離してください。
3. 1秒後プリンタが自動的に以下の内容を印字します。  
これはプリンタが正常に作動していることを示します。



上記のように現在のプリンタの設定情報をラベルに印字します。

### 3-4. ダンプモード

ダンプモードを行なうことで、プリンタとコンピューターとの通信エラー等のチェックすることが出来ます。例えばプリンタが8つのコマンドを受信した場合、通常の印刷は行わず、8つのコマンド内容を印字することができ、コマンドが正常に伝達されているかを確認することが出来ます。以下はダンプモードのチェック手順です。

1. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
2. FEED キーを押しながら電源を投入します。  
液晶ディスプレイに「ダンプモード」と表示されたら FEED キーを離してください。
3. ラベルに「DUMP MODE BEGIN」と印字されます。これは既にプリンタがダンプモードに入っていることを示します。
4. プリンタにコマンドを送り、コマンドの内容をチェックしてください。

ダンプモードを終了する場合は、FEEDキーを押します。ラベルに「OUT OF DUMP MODE」と印字され「オンライン」に戻ります。

### 3-5. オートセンサーモード

自動的に用紙長を感知することができて、それを記録することができます。この方法によって、ユーザーは用紙長をセットする必要はありません、そして、プリンターは紙の隙間の位置を正確に感知することができます。

1. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
2. Pause キーを押しながら電源を投入します。  
ビープ音が3回鳴り、液晶ディスプレイに「自動センサーモード」と表示されたら Pause キーを離してください。
3. 自動的にラベルのサイズを測長します。
4. 測長後、液晶に測長結果を表示し、オンラインに戻ります。

### 3-6. キーボードモード

PiシリーズプリンタはPS2キーボードの接続が可能です。  
下記に従い接続してください：

1. プリンタの電源がONの状態、オンラインになっているか確認してください。
2. プリンタの電源を切り、PS2ポートにキーボードを接続してください。
3. プリンタの電源を入れると液晶ディスプレイに「キーボードモード [y/n]」と表示されます。
4. プリンタFEEDボタンを押すかキーボードの「Y」キーを押してキーボードモードに入ります。

キーボードモード中は、ESCキー又はプリンタ本体のCANCELキーで前の画面に戻ります。  
最後まで戻ることにより「キーボードモード終了？ [Y/N]」と表示され、「Y」キー又はFEEDボタンを押すことにより、キーボードモードを終了します。  
再度、キーボードモードに入る場合は、電源を入れ直すか、液晶ディスプレイからキーボードモードを選択してください。

#### Print a label with stored form in Keyboard Mode

<pre> ^FTEST1 ^Q100, 3 ^W100 ^H10 ^P1 ^S2 ^AD ^C1 ^R0 ~Q+0 ^00 ^D0 ^E12 ~R200 ^L Dy2-me-dd Th:m:s CO, 00001, +1, Serial Number V00, 16, Product Name, jc0 V01, 16, Price, jc0 AF, 330, 566, 1, 1, 0, 0, ^C0 AH, 212, 168, 1, 1, 0, 0, ^V00 AG, 308, 396, 1, 1, 0, 0, ^V01 E         </pre>	<div data-bbox="922 817 1268 1124" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Product name</p>    <p>Price</p>    <p>Serial Number</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キーボードモードで印刷を行う場合、プリンタにラベルデータをダウンロードしなくてはなりません。上のサンプルを印字するには左の示しているコマンドを送り、ラベルデータをダウンロードする必要があります。 左のコマンドをコピーし、アプリケーションソフト「Label Plus」やハイパーターミナルなどからプリンタにコマンドを送ってください。てプリンターにそれを送ってください。</li> <li>2. サンプルは2つの可変データと1つの連番を含んでいます。</li> </ol>
<div data-bbox="268 1585 778 1863" style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>SYSTEM WAVE</b></p> <p>キーボードモード</p> <p>? [y/n]</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. プリンタの電源を切り、PS2ポートにキーボードを接続し、プリンタの電源を入れます。</li> <li>4. 「Y」キーを押し、キーボードモードに入ります。</li> </ol>

<p><b>SYSTEM WAVE</b> 001フォーマット名 TEST1</p>	<p>5. ラベル選択でENTERキーを押し、フォーマット名を選択します。</p> <p>* Note: ↑キーや↓キーで前後のフォーマットを選択することができます。</p>
<p><b>SYSTEM WAVE</b> Serial Number 00001_</p>	<p>6. 液晶にSerial Numberの入力が表示されます。</p> <p>7. キーボードで開始値を入力してください。(例:00001)</p>
<p><b>SYSTEM WAVE</b> Product Name —</p>	<p>8. 液晶に1つめの可変データ入力が表示されます。</p>
<p><b>SYSTEM WAVE</b> Product Name Apple_</p>	<p>9. 可変データをキーボードで入力します。(例: Apple)</p>
<p><b>SYSTEM WAVE</b> Price —</p>	<p>10. 液晶には次の可変データ入力項目が表示されます。</p>
<p><b>SYSTEM WAVE</b> Price 199_</p>	<p>11. キーボードで可変データを入力します。(例: 199)</p>

<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <h1 style="text-align: center;">SYSTEM WAVE</h1> <p style="text-align: center;">印字枚数 3_</p> </div>	<p>12. 液晶に印字枚数が表示されます。</p> <p>13. 印字枚数を入力します。（例：3）</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Apple</p> <p>199</p> <p>00001</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Apple</p> <p>199</p> <p>00002</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Apple</p> <p>199</p> <p>00003</p> </div> </div>	<p>14. 3枚ラベルが印字されます。</p>

### 3-7. 操作エラーの表示

プリンタにトラブルが起きた時は、ビープ音とLEDランプと液晶ディスプレイでのエラーメッセージを表示します。



早い点滅



遅い点滅



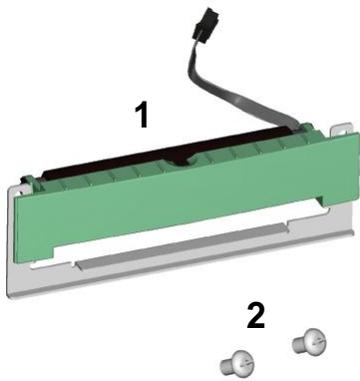
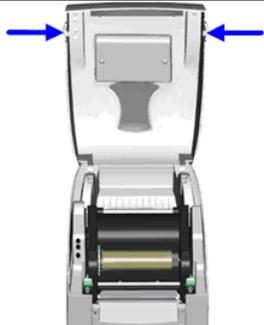
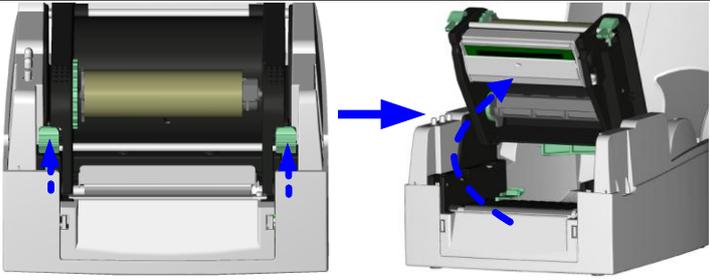
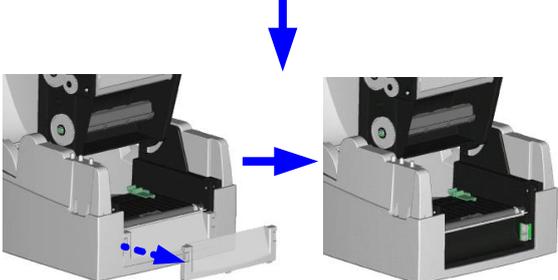
点灯

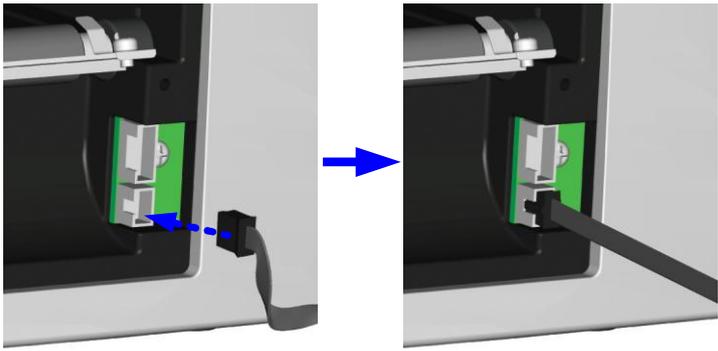
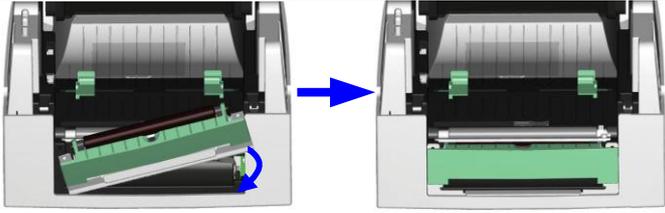
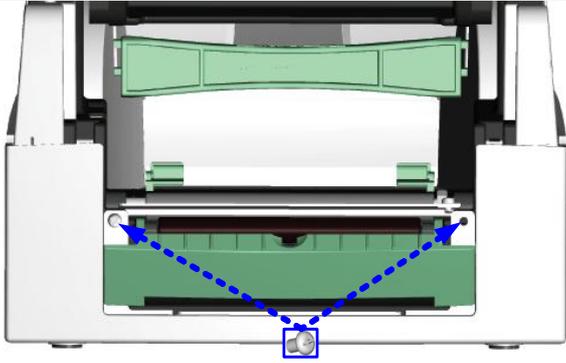
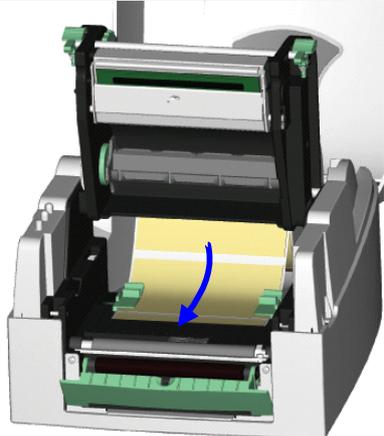
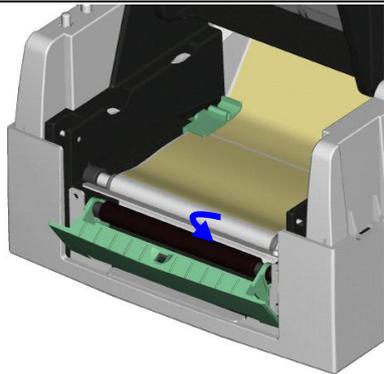
液晶メッセージ	LEDランプ			ビープ音	説明	解決策
	Ribbon	Media				
ヘッドオープン			両方点灯	4回	ヘッドユニットが開いている。	ヘッドユニットを開け、再度閉め直してください。
ヘッド高温			同時点滅		サーマルヘッドが高温になっています。	オンラインになるまでお待ちください。
リボンなし又はセンサーをチェック				3回	リボンがセットされていない。	Make sure the printer is in the Direct Thermal mode.
					リボン切れか、リボンシャフトが動いていません。	新しいリボンをセットしてください。
ラベルなし又はセンサーをチェック				1回	ラベルを検出できません。	センサー位置を確認してください。オートセンサーモードで測長を行なってください。
					ラベル切れ	新しいラベルを入れてください。
ラベル詰まり				1回	ラベル詰まり	ヘッドユニットを開け、ラベルが詰まっていない確認してください。
CFカードが見つかりません。			同時点滅	2回	CFカードが正しく取り付けられていなか、フォーマットされていません。	4-5を参照し、CFカードのフォーマットを行なってください。

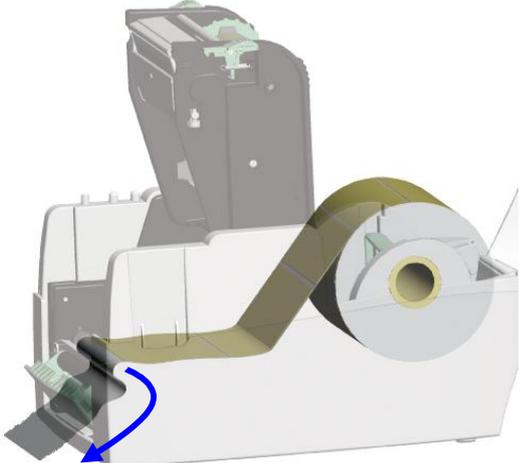
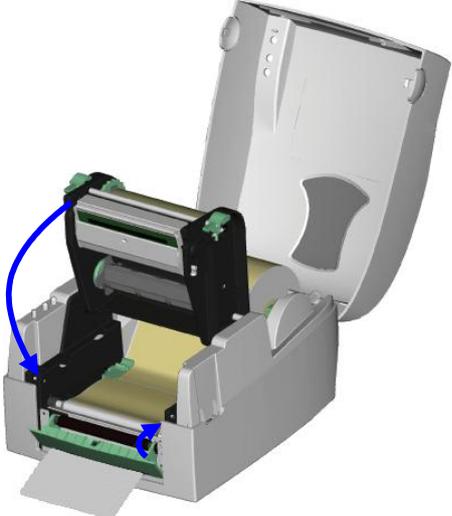
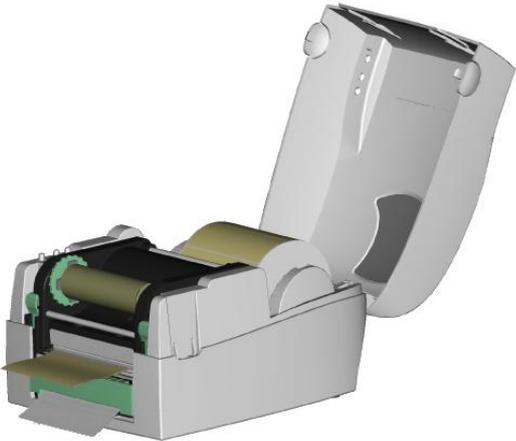
メモリー フル				2回	メモリーが一杯	メモリー内の必要ないデータを削除してください。
ファイル名が見つかりません。				2回	ファイルが見つかりません。	ファイル名が正しくありません。 “~X4” コマンドを送り、プリンタにダウンロードされているファイルを確認してください。
ファイル名が重複しています。				2回	ファイル名が重複しています。	別のファイル名でダウンロードを行なってください。

## 4. オプション

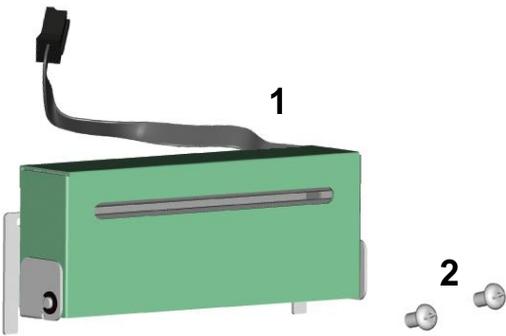
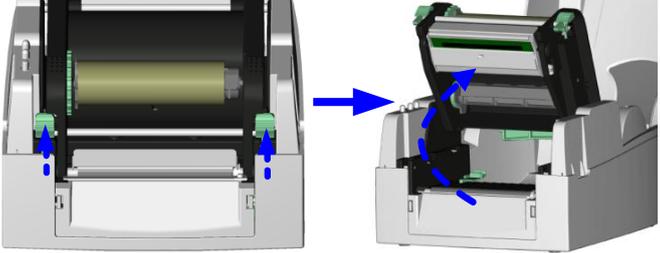
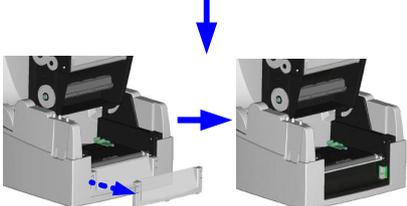
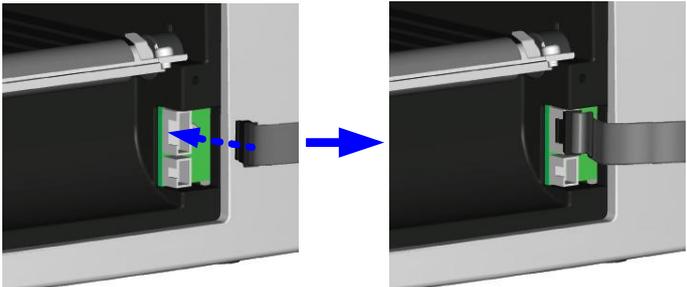
### 4-1. ピラーユニットの取り付け方法

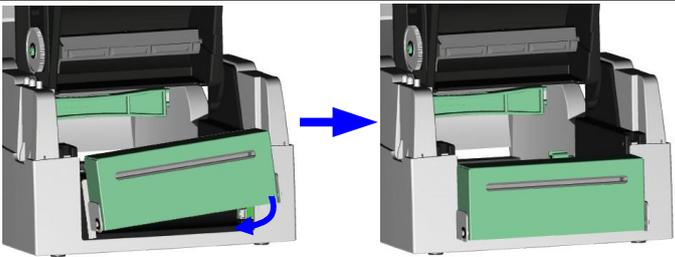
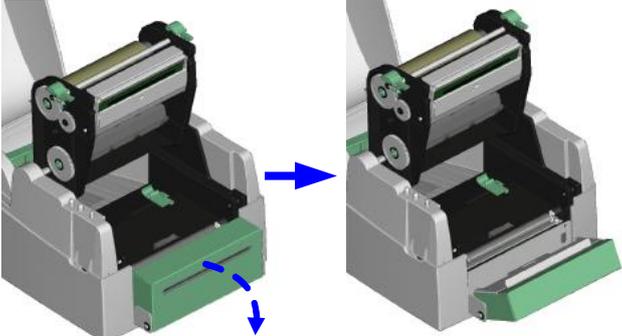
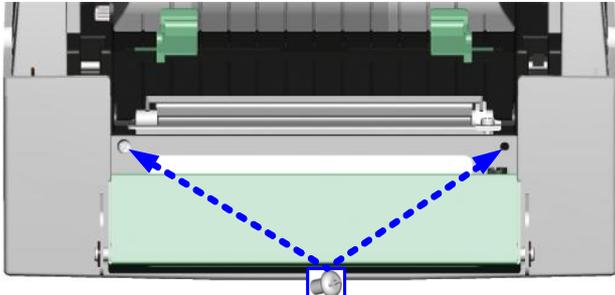
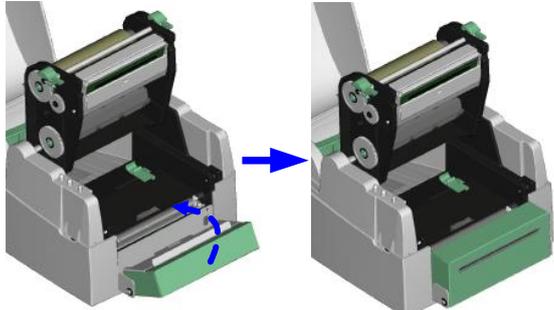
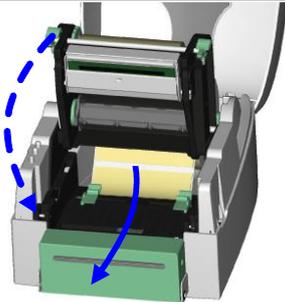
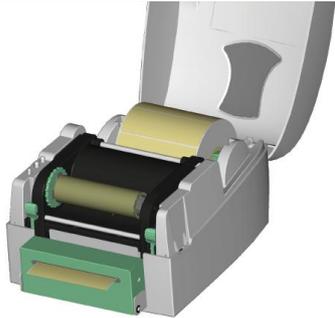
1	ピラーユニット	
2	ねじ (TAP 3*8) x 2個	
<p><b>【注意 1】</b> ピラーユニットを取り付ける時は電源をオフにしてください。</p> <p><b>【注意 2】</b> ラベル台紙の厚さは 0.06mm ± 10% 重量は 65g/m<sup>2</sup> ± 6% です。</p> <p><b>【注意 3】</b> ラベルの最大幅は 110mm です。</p> <p><b>【提案】</b> Label Plus を使う場合のラベル停止位置は 9mm です。</p>		<p>1. プリンタの正面に向かい、プリンタの左右の開閉ボタンを押しカバーを開きます。</p>  <p>2. 左右の留め具を押し、ヘッド部分を上方方向に開きサーマルヘッドを上押しします。</p>  <p>3. 矢印のように左右の出っ張りを押し、ロックをはずします。</p>  <p>4. 前面カバーを上引っ張るようにはずします。</p> 

<p>5. ピラーユニットのプラグをコネクタの下部ソケットに差し込みます。</p> <p><b>【注意】</b>          連結板には2つのコネクタ（オス）があります。1個はピラーユニット用、1個はカッターユニットに使用します。プラグを差し込む前にピンの向きを確認してください。</p>	
<p>6. ユニットの右側の台座の凹部に取り付けた後、左側をはめ込みます。</p>	
<p>7. ピラーユニットを支えながら、両側をネジで固定します。</p>	
<p>8. ラベルガイドに沿ってラベルをセットします。</p> <p><b>【注意】</b>          使用するラベルの長さは少なくとも30mm以上必要です。</p>	
<p>9. ラベルの1枚目を剥がし台紙をローラーとティアオーバーの間に通します。</p>	

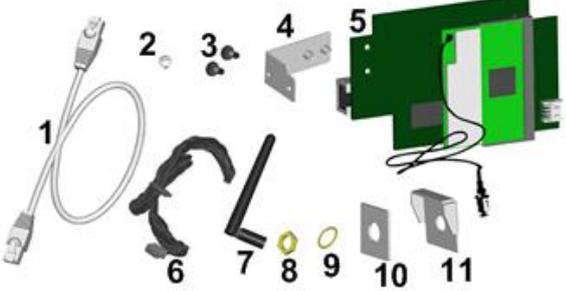
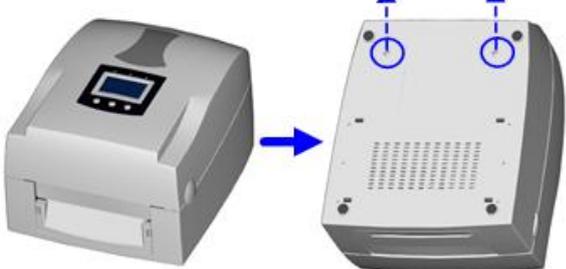
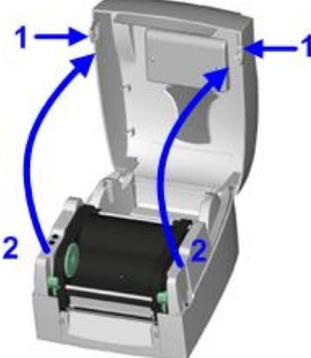
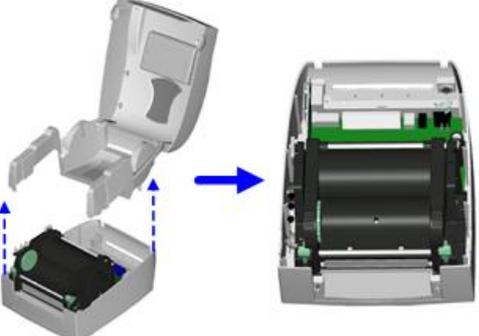
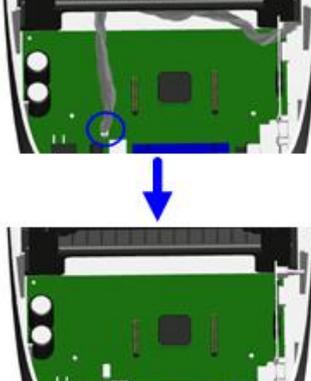
<p>10. 図のように台紙をピラーに通してください。</p>	
<p>11. サーマルヘッド部分とピラーユニットを閉じてください。</p>	
<p>12. 閉じた後、電源を入れ FEED キーを押しラベル用紙を1枚進ませて、位置を決定します。これでピラーユニットの設定は完了です。</p>	

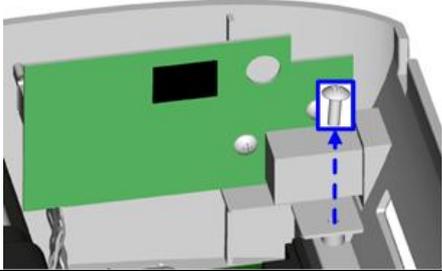
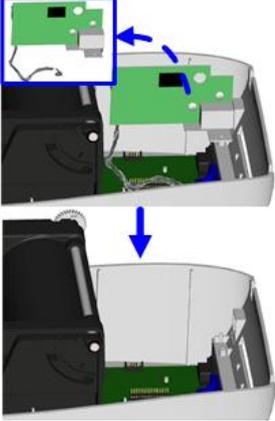
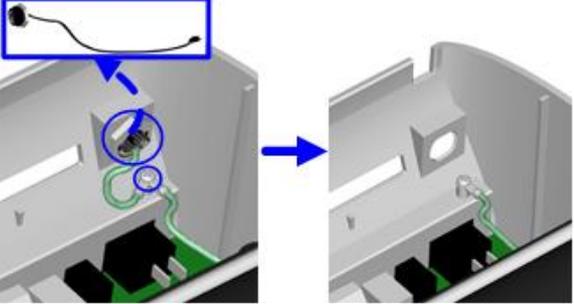
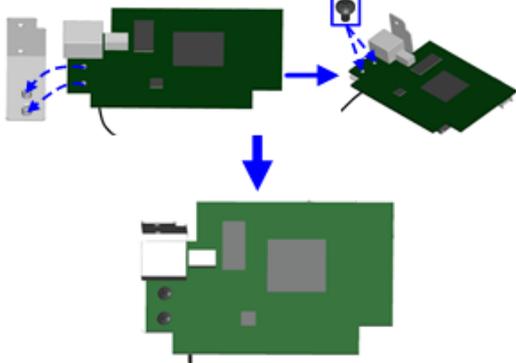
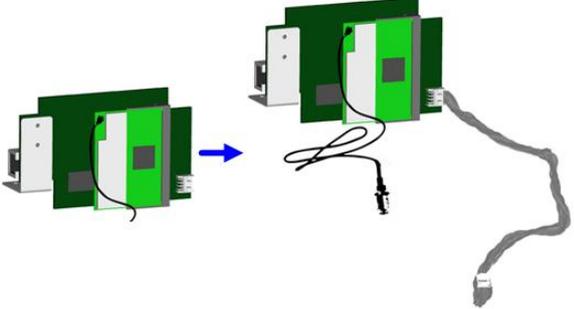
## 4-2. カッターユニットの取り付け方法

1	カッターユニット	
2	ネジ (TAP 3*8) x 2個	
<p><b>【注意1】</b> カッターユニットを取り付ける時は電源をオフにしてください</p> <p><b>【注意2】</b> カッターは糊が付いている部分を直接切断することは避けてください。糊の付着により、故障の大きな原因になります。</p>		<p><b>【注意3】</b> カット可能な最大ラベル幅は116mmです。  <b>【提案】</b> Label Plusを使う場合はラベル停止位置を30mmで設定してください。</p>
1.	<p>プリンタの正面に向かい、プリンタの左右の開閉ボタンを押しカバーを開きます。</p>	
2.	<p>左右の留め具を押し、ヘッド部分を上方方向に開きサーマルヘッドを上押しします。</p>	
3.	<p>矢印のように左右の出っ張りを押し、ロックをはずします。</p>	
4.	<p>前面カバーを上へ引っ張るようにカバーをはずします。</p>	
5.	<p>カッターユニットのプラグをコネクターの上部ソケットに差し込みます。</p> <p><b>【注意】</b> 連結板には2つのコネクターがあります。差し込む前に確認をしてください。</p>	

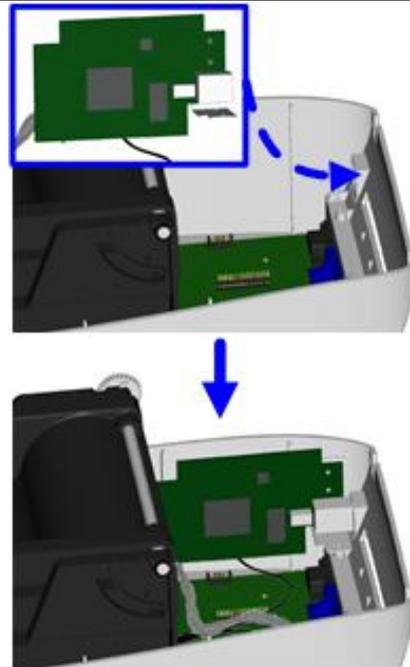
<p>6. ユニットの右側の台座の凹部に取り付けた後、左側をはめ込みます。</p>	
<p>7. カッターユニットを下向きに押し開きます。</p>	
<p>8. カッターユニットを支え、両側をネジで固定します。</p>	
<p>9. 両側をネジで固定した後、カッターユニットを上に向けて固定します。</p>	
<p>10. ラベルをラベルガイドに合わせセットします。</p> <p>11. サーマルヘッドを閉じます。ハードの準備は完了です。</p>	
<p>12. 電源を入れ、FEED キーを押し1枚ラベルを進めます。正しい位置で1枚カットされて、ラベルが出てきます。これでカッターユニットの取り付けは完成です。</p>	

### 4-3. ワイヤレスLANボードの取り付け方法

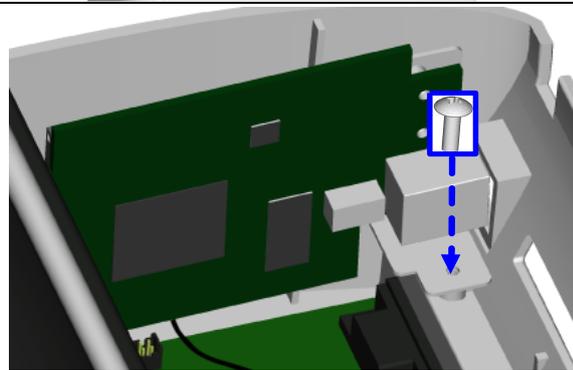
<table border="1"> <tr><td>1</td><td>LANケーブル 1.8M</td></tr> <tr><td>2</td><td>ネジ*1</td></tr> <tr><td>3</td><td>ブラケット用ネジ*2</td></tr> <tr><td>4</td><td>モジュールブラケット</td></tr> <tr><td>5</td><td>ワイヤレスLANモジュール</td></tr> <tr><td>6</td><td>モジュール接続ケーブル</td></tr> <tr><td>7</td><td>ワイヤレスLANアンテナ</td></tr> <tr><td>8</td><td>ナット (アンテナ用)</td></tr> <tr><td>9</td><td>ワッシャー (アンテナ用)</td></tr> <tr><td>10</td><td>固定プレート</td></tr> <tr><td>11</td><td>アンテナ用ブラケット</td></tr> </table>	1	LANケーブル 1.8M	2	ネジ*1	3	ブラケット用ネジ*2	4	モジュールブラケット	5	ワイヤレスLANモジュール	6	モジュール接続ケーブル	7	ワイヤレスLANアンテナ	8	ナット (アンテナ用)	9	ワッシャー (アンテナ用)	10	固定プレート	11	アンテナ用ブラケット	
1	LANケーブル 1.8M																						
2	ネジ*1																						
3	ブラケット用ネジ*2																						
4	モジュールブラケット																						
5	ワイヤレスLANモジュール																						
6	モジュール接続ケーブル																						
7	ワイヤレスLANアンテナ																						
8	ナット (アンテナ用)																						
9	ワッシャー (アンテナ用)																						
10	固定プレート																						
11	アンテナ用ブラケット																						
<p>1. プリンタの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。平らな場所にプリンタを置き、裏返します。</p> <p>2. 右図の位置のネジを2本外します。</p>																							
<p>3. カバーを開けます。</p>																							
<p>4. カバーを外します。</p>																							
<p>5. 既存のケーブルを抜きます。</p>																							

<p>6. 固定ネジを外します。</p>	
<p>7. LAN モジュールとケーブルを外します。</p>	
<p>8. PS2 ポートを長いプライヤーなどで外します</p> <p>9. アースケーブルネジを外し、ワイヤーと共に PS2 ポートを外します。</p> <p>10. 図のようにアースケーブルを元に戻してください。</p>	
<p>11. ワイヤレス LAN モジュールをブラケットに取り付けます。</p>	
<p>12. モジュール接続ケーブルの束を慎重にカットし、コネクタを差し込みます。</p>	

13. ワイヤレス LAN モジュールをプリンタ本体に取り付けます。



14. ネジでプレートを固定します。



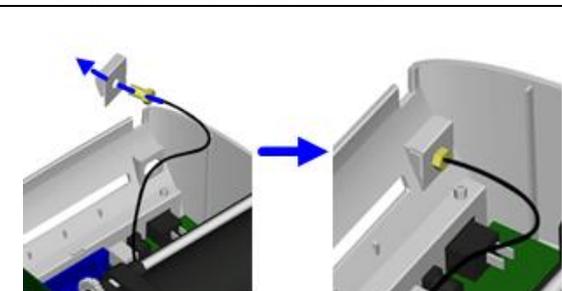
15. モジュールケーブルは他のケーブルと同じようにメインボード上で通してください。アンテナケーブルも矢印のように通してください。

**【Note】**

カバーを閉めた際に、ケーブルが邪魔にならないように束ねてください。



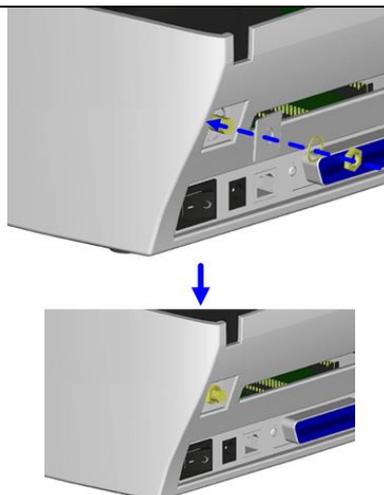
16. アンテナケーブルをアンテナブラケットに通してください。それから図のようにアンテナポートに差し込んでください。



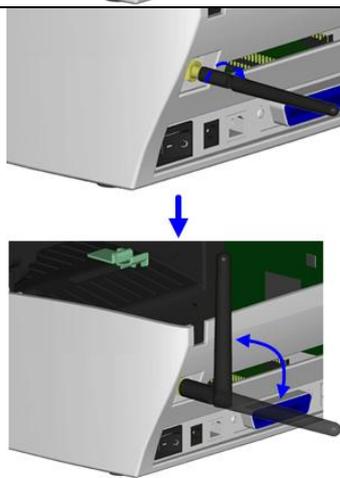
17. 固定プレート、ワッシャーの順で入れて、ナットを締めてください。

**【Note】**

長いプライヤーなどでナットを締めることをおすすめします。



18. 矢印の方向に回転させてアンテナを取り付けます。必要に応じて、アンテナの角度を変えてください。



19. トップカバーを直し、裏面のネジを2本締めて完成です。

**【Note1】**

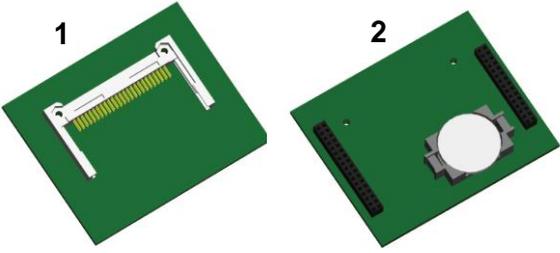
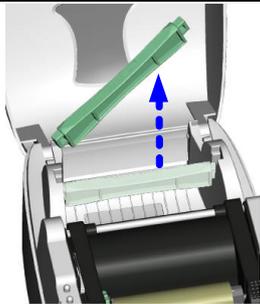
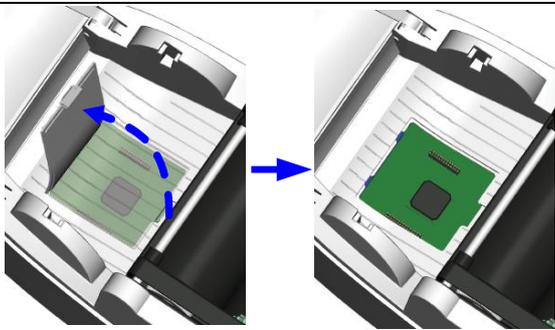
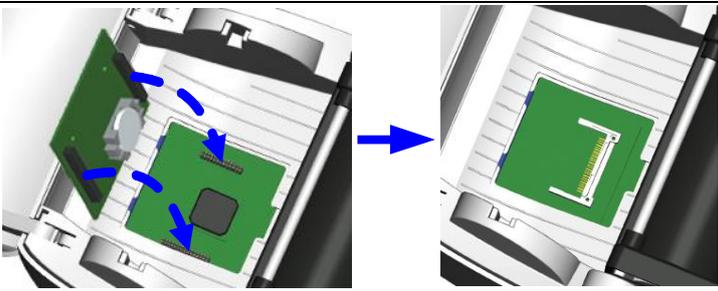
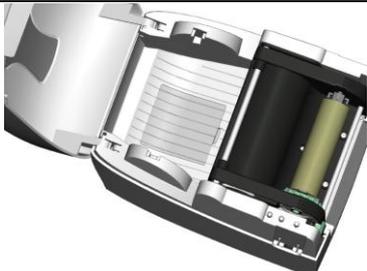
ワイヤレス LAN を使用するには“^XSET, USBETHERNET, 1”のコマンドをプリンタに送信するか、液晶パネルで USB/ETHERNET の項目を ETHERNET に変更する必要があります。その間、USB ポートは使用できなくなりますので、ご注意ください。

**【Note2】**

ワイヤレス LAN を使用する前に、有線 LAN で設定を行なう必要があります。



## 4-4. CF カードの取り付け方法

1	CF カード(正面)	
2	CF カード(裏面)	
1.	<p>プリンタの正面に向かい、プリンタの左右の開閉ボタンを押しカバーを開きます。</p>	
2.	<p>ラベルセット用軸を外してください。</p>	
3.	<p>プラスチックカバーを開き、取り外してください。</p>	
4.	<p>ピンの形状が一致するかを確認し、メインボードにソケットを差し込んでください。</p> <p><b>【注意】</b> ソケットとピンが一致しているかを再度確認し進めてください。</p>	
5.	<p>カバーを閉じます。</p>	

## 4-5. CF カードのインストール

KSW-500Pi シリーズはCFカードアダプターをインストール後CFカードを読むことが出来ます。プリンタに組み込まれているメモリーがラベルフォーマット・グラフィック又はフォントを保存するのに不十分であれば外部メモリーとしてより多くのメモリースペースを供与する為にCFカードを使用することが出来ます。

CFカードを使う場合は下記の通り設定してください。

1. CFカードを装着、又は取り出す場合は必ず電源をオフにしてください。
2. CFカードはFAT16で初期化しないと外部メモリーとして使うことは出来ません。CFカードがFAT16に初期化されていないと、液晶ディスプレイに “CFカードが初期化されていません。初期化するにはFEEDを押してください” と表示されます。
3. CFカードの初期化を行う場合は、“FEED” キーを押し、指示に従ってください。CFカードをFAT16で初期化を行います。
4. 初期化が終わった後、自動的にファイルフォルダに “Godex” と名前がつけられます。このフォルダはプリンタからの全てのデータを保存するフォルダです。
5. CFカード仕様  
Compact Flash Type1  
Compact Flash v1.4 specification  
容量128MB ~1GB  
ファイルシステム FAT16

## 5. メンテナンスと調整

### 5-1. サーマルヘッドのクリーニング

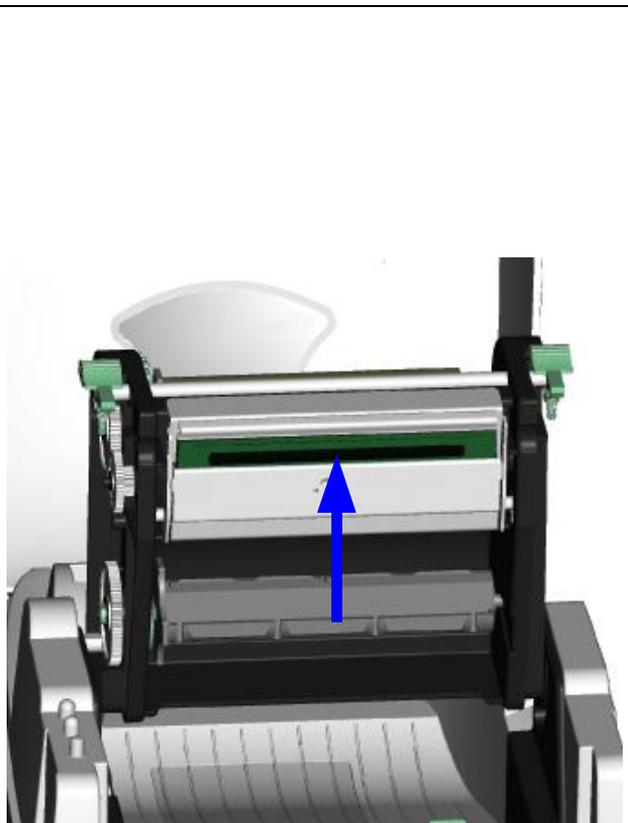
サーマルヘッドにホコリ、ラベルの糊、インクなどが付着することにより印字が不鮮明になり、一部分が印字されないなどの不具合が起きる可能性があります。汚れが付着していないラベルを使用するようにしてください。サーマルヘッドのクリーニングは以下の手順で行います。

1. 電源をオフにします。
2. 上部カバーを開きます。
3. リボンを取り外します。
4. 左右の留め具を押し、上方向に開いて、サーマルヘッドを上に出します。
5. サーマルヘッド（図の矢印部分）に粘着性のラベル、糊又は他のゴミが付着している場合、クリーニングペーパー、エタノール筆、エタノールを付けた柔らかい布などで除去してください。

**【注意1】** サーマルヘッドは毎週クリーニングすることをお勧めします。

**【注意2】** サーマルヘッドをクリーニングする時は布に金属や硬い物質が付着していないかを確認してください。

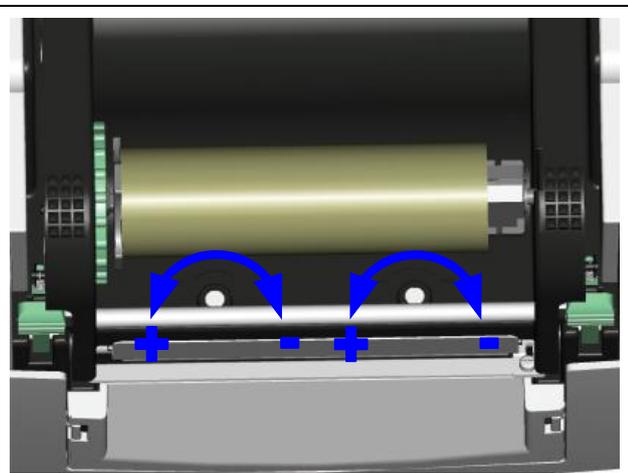
**【注意3】** プリンタについているクリーニングカードを使ってプリンタを清掃してください。



### 5-2. サーマルヘッド圧の調整

異なる紙質のラベルや材質の違うリボンを使用する場合、材質の違いにより印字品質が変化する可能性があります。必要に応じてサーマルヘッド圧を調整してください。

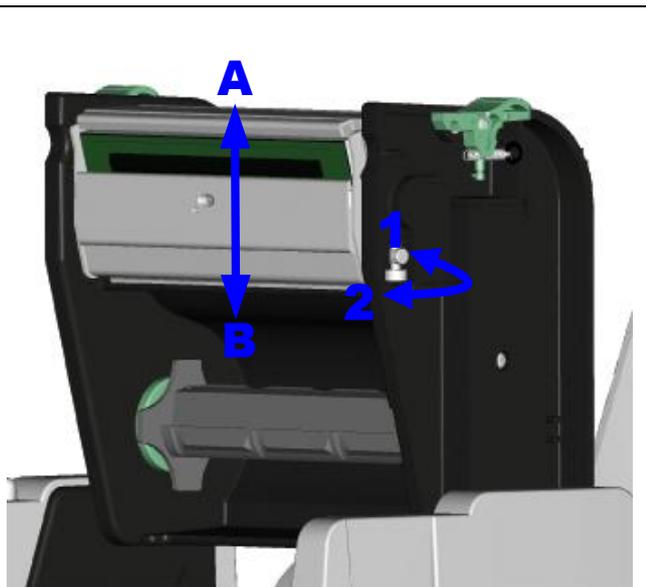
1. 上部カバーを開けます。
2. リビンをはずします。
3. サーマルヘッドの圧力調整ボタンをマイナスドライバーで軽く回し調整を行います。機器を破損させる恐れがあるために、過度な力をかけないでください。



### 5-3. サーマルヘッドのオフセットの調整

ラベルの種類によって、サーマルヘッドとラベルの接触面を調整し、印字の平衡性と品質を調整します。

1. 矢印1の方向に回した場合は、サーマルヘッドはBの方向に移動します。
2. 矢印2の方向に回した場合は、サーマルヘッドはAの方向に移動します。

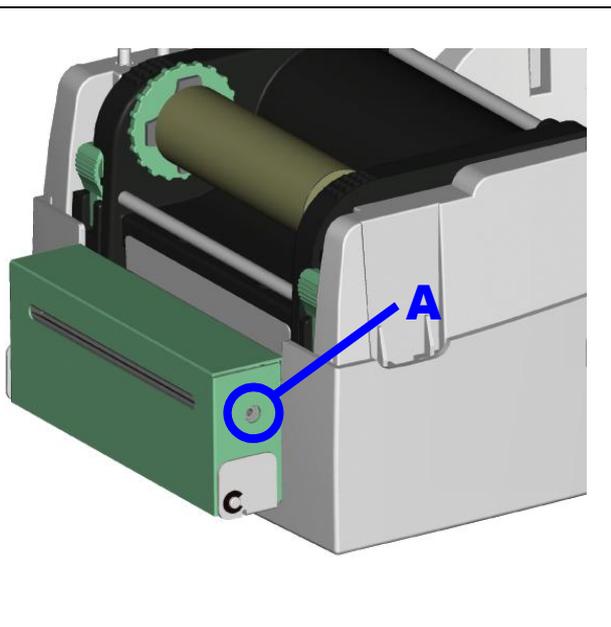


### 5-4. カッターの紙詰まり除去

1. カッターの右側には「A」で示された調整穴があります。
2. 紙詰りによりカッターが正常に作動しない場合、先ず電源をオフにし、3mmの六角レンチを「A」の調整穴に差し込み、時計回りの方向に回すことで、閉じている刃を開くことができます。
3. 詰まっていた紙を除去した後、電源をオンにすると、刃は自動的にもとの位置に戻ります。

**【注意】**

カッターを使用するとき、ラベルの長さは30mm以上であることをお勧めします。



## 5-5. トラブルシューティング

問題点	解決方法
電源をオンにしてもLEDが点灯しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 電源コードがつながっているかを確認してください。</li> </ul>
プリンタが停止し、Errorランプが点灯しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アプリケーションソフトの設定を確認するか、プログラム命令にエラーがないか確認してください。</li> <li>◆ 正しい印字モードが選択されているか確認してください。</li> <li>◆ ラベル又はリボンがなくなっていないか、</li> <li>◆ ラベルが詰っていないかを確認してください。</li> <li>◆ プリンタがきちんと閉まっているかを確認。(サーマルヘッドが正式な位置に固定されているか)</li> <li>◆ センサーが用紙に遮断されていないか</li> <li>◆ カッターが正常でない作動をしていないか、又は作動していないか確認してください。</li> </ul>
印字を開始しても、ラベル上に何も印字されません	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルが裏返しになっていないかどうか、または適切なものか確認してください。</li> <li>◆ 正しいプリンタのドライバーを選択してください。</li> <li>◆ 正しい材質のラベル、リボンを選択してください。</li> </ul>
印字の時、ラベルが詰ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 詰っているラベルを除去し、ヘッドに糊が付着している場合、クリーニングペーパー、エタノールを付けた柔らかい布を使用し付着した糊を除去してください。</li> </ul>
印字の際、ラベル上に部分的にしか印字されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベル、リボンがサーマルヘッドに付着していないかを確認</li> <li>◆ ソフトにエラーがないかを確認してください。</li> <li>◆ 印字開始場所が正しいか確認してください。</li> <li>◆ リボンが平衡になっているか確認してください。</li> <li>◆ プラテンローラが損傷していないかを確認してください。交換が必要な場合、サービスマンに連絡ください。</li> <li>◆ 電源が正しく供給されているかを確認してください。</li> </ul>
印字の時、ラベルのある部分が正確に印字されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サーマルヘッドに糊やインクが付着していないか確認。</li> <li>◆ 内蔵されている命令“~T”を使用しサーマルヘッドが正確に印字するか確認してください。</li> <li>◆ ラベルの品質が適切かどうかを確認してください。</li> </ul>
希望する場所に印字できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ センサーが紙に覆われてないかの確認</li> <li>◆ ラベル台紙が適切でない場合が考えられます。販売店に確認ください。</li> <li>◆ ラベルガイドが正確にラベルを固定しているかの確認</li> </ul>
印字の際、次のラベルに跳んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルの高さと間隔が正しく設定されているかの確認</li> <li>◆ センサーが紙に覆われていないかの確認</li> </ul>
印字が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 印字濃度の設定が適切かどうかの確認</li> <li>◆ サーマルヘッドに糊やインクが付いてないかの確認</li> </ul>
カッターを使用時、ラベルが正しくカットされない	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルが斜めに置かれていないかを確認</li> </ul>
カッター使用時、ラベルがカットされません	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラベルの厚さが0.2mmを超えていないかの確認</li> </ul>
カッター使用時、ラベルが出てきません。また不規則にカットされます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ カッターが適切にセットされているかの確認</li> <li>◆ カッターにラベルが詰っていないかの確認</li> </ul>
ピラーが正しく動作しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ピラーセンサーにホコリや紙に覆われていないかの確認</li> <li>◆ ラベルが適切にセットされているかを確認</li> </ul>

【注意】以上の説明によって問題が解決されない場合は、SYSTEM WAVE又は代理店にご相談ください。